

Y I A 会員だより 2024年2月号

発行；吉野川市国際交流協会・広報部(Tel22-2271,Fax22-2270)
第230号 ホームページ URL <https://yia2020.net/>



【2月以降の活動予定他】

◎国際理解講座：2024年2月24日13：30～
場所：吉野川市文化研修センター

◎多文化共生交流会：2024年2月25日10：00～
場所：山川公民館
◎日本語教室お花見：3月31日予定

◆もちつき大会

瀬尾 規子

1月14日（日）午前8時から、西麻植青年館主催による「もちつき大会」がありました。西麻植婦人会、ほたるクラブ、吉野川市国際交流協会が共催して行いました。日本語教室で学んでいるベトナム、インドネシア、中国、フィリピン、ネパール、カンボジ



ア、カナダなど7か国の受講生など21人とYIA会員14人が参加しました。TOPIAから長田さんも参加しました。

早朝は厳しい寒さでしたが、晴天

に恵まれ、風もなく穏やかな天候の中、もちつき大会が始まりました。もちを蒸す人、もちをつく人、もちを丸める人、ぜんざいの準備をする人などそれぞれに役割分担ができていて、手際よく作業が進みました。



受講生は、もちつきやもちを丸める作業にチャレンジしました。地域の人たちと交流しながら、楽しそうに作業をしてい



ました。空き時間には、カルタや福笑いのゲームをして、日本のお正月の文化も体験しました。婦人会の皆さんに作っていただいた、ぜんざいをいただき、11時過ぎに終了しました。「もちつき大会」は、今回で6回目を迎え、1月の恒例行事として定着してきました。ご多用の中、ご協力をいただいた関係者の皆様に

心から感謝いたします。ありがとうございました。

心から感謝いたします。ありがとうございました。



◆日本語教室・2023年度の活動報告 萩森 健治

YIAの日本語教室は1992年10月に開講して以来今年で32年目を迎えました。現在は毎週日曜日に、山川教室（山川公民館）で10:00～11:30 鴨島教室（文化研修センター）で13:30～15:30に年間約40回開催しています。



学習者：参加する学習者は、吉野川市内や近隣市町で技能実習や特定技能として働く外国人が多く、技術人文国際のエンジニアや定住者らも来校しています。出身国は、ベトナム、インドネシア、中国、フィリピン、カンボジア、ミャンマー、ネパール、タイ、カナダ、アフガニスタンの10か国で登録者総数は70人です。年齢は20～40歳代で約3/4は女性です。日本語を勉強したい人は無料でだれでも参加できます。

ボランティア講師：講師は両教室合わせて12人（女性7人、男性5人）で年齢は30歳～70歳代です。都合のつく日に参加する講師も大歓迎ですので、一度遊びに来てください。

授業の様子：学習者の日本語レベルや日本語を学ぶ動機は様々です。教室ではできる限り同じようなレベルの学習者にグループ分けし、会話、文型、日本語能力試験（JLPT）対策などの指導を実施しています。使用するテキストは、「みんなの日本語初級Ⅰ、Ⅱ」「日本語能力試験用問題集」などです。JLPT試験は7月と12月の年に2回行われ、試験前になると受験希望の学習者が多く出席します。

鴨島教室：コロナ禍以前は、毎週15～20人も多くのベトナム人が出席していましたが、最近はベトナム人の出席者が大幅に減少しました。技能実習期間が終了して帰国した人、特定技能の介護職に移行して他府県に移動した人、日曜日は仕事のため教室に参加できない人が増えたことが原因だと思えます。

今年度の出席者数は4～8人で平均5.1人と少なくなっています。定住するフィリピン出身の兄弟、カナダから一時滞在中の女学生、ネパール出身のエンジニアが熱心に来校しています。彼らは英語がネイティブなので英語が得意な井口講師が英語と日本語の半々で楽しく指導しています。また、阿波市から自転車で40分かけて来校する農業の技能実習生もいます。講師の井口さん、大塚さん、萩森、那賀町から来る高田さん、時々来校する一井さん、真鍋さん、岩谷さんとアットホームな雰囲気です。



山川教室：山川教室は2020年6月に新規に開校して3年半になり教室は順調に推移しています。教室の近くに原田食品という食品製造会社や佐藤化学、白山衣料、マルイソーイングという縫製会社があり、それらの会社で働く技能実習生や特



定技能生の学習者らが定常的に出席し、出席者数は7～13人で平均8.5人です。とくに原田食品の中国とインドネシア出身の女性の皆さんは熱心に勉強しています。講師の細谷さん、平田さん、三原さん、今関さん、川村さんの5人が、それぞれ3～4グループに分かれてきめ細かく指導しています。受講生の張さんはJLPTのN2を取得済みで中国出身の初級レベルの学習者に対して中国語を交えて日本語指導を行っています。

学習モチベーション向上：日本語教室では、日本語学習意欲の向上を図るため、徳島県日本語弁論大会への出場を奨励しています。2018年にベトナム人技能実習生のホックさんが初めて出場し、それ以来2023年まで6年間連続で合計10人出場しています。



2021年からは弁論大会出場への登竜門として日本語スピーチコンテストを開催しています。また、日本語教室への出席を促すため半期ごとに最多出席者を表彰しています。前記の張さんは毎回表彰されています。

講師の研修活動：日本語教室では、徳島県国際交流協会などが主催する日本語指導スキルアップ講座などの研修会に講師が参加したり、日本語教育を専門とする大学の先生方に教室を視察していただいたりして、日本語指導に対するスキルアップを図っています。今年度は、愛媛大学、東京大学、大阪経済法科大学、鳥取大学の先生方が視察されました。

課外活動：日本語学習以外に日本文化体験やバスツアーなどのイベントを開催し、学習者と地域住民との交流を図っています。地域のライオンズクラブとの交流、市役所連と合同の阿波踊り、川島高校のサマーチャレンジ授業に参加、俳句書道ワークショップで俳句に挑戦、浴衣着物着付け体験会、奈良バスツアー、もちつき大会などを楽しみました。

今後に向けて：日本語教室では、外国人に対して「言葉の壁」を解消することを目的として日本語指導を続けています。また活動を通して地域住民との「心の壁」を解消し、互いに住みやすい多文化共生社会をつくることを目指して頑張りたいと思います。